

林野労組九州

発行所
熊本市西区京町本丁2の7
全国林野関連労働組合
九州地方本部
電話 096-354-1150

発行者 松本慎剛
発行日 10日
定価 1部20円
組合員の購読料は
組合費の中に含む

緑を育て、守る、 林野労組

当面の行動

- 3月9日 森林労連共済推進オ
ルグ
(熊本・局分会)
- 3月12日 林野庁共済組合運営
委員会
- 3月18日 執行委員会
- 3月26日 執行委員会
- 4月8日 執行委員会



次代を担う先輩後輩コンビ

匠の腕シゴト

「韓国岳より大浪池」

(撮影者 東 泰晟：熊本南部分会)



「匠の一言」
韓国岳中腹からの景色です。

青年女性の春闘が始動!! ~春闘学習交流集会・総務企画部長会見~



若い世代の声で、この職場の未来を動かす

2月8日から9日にかけて、九州各地の青年女性委員が熊本市に結集し、春闘学習交流集会で寄せられた等身大の声を、総務企画部長会見を通じて当局に求めました。

冒頭、東委員長より、「本集

会を通して、自分の職場の実態や日頃感じている不満などを共有していただき、明日の部長会見に繋げていきたい」と挨拶がありました。

続いて、加藤執行委員長より、政治情勢や組織強化に向けた様々な集会等を通して、組合員の横の繋がりを大切にしてほしいなど、今の青年女性委員会に求めていることについて挨拶を

賜りました。

その後、分散会討論では、「生活実態」「職場実態」「将来展望」等の項目を設け、各分会から積み上げてきた実態を共有し、青年女性全体の意見・要求をまとめました。その中で出された内容としては、「賃金のベースアップ、各種手当の支給条件緩和」「休暇制度の見直し」「看護休暇の日数増加」「昇格基準の緩和」「要員要求、内示の

早期化」など様々な分野から意見が出されました。その後、森林労連共済推進本部の渡辺事業推進部長より、共済オルグが実施されました。共済オルグでは、共済の歴史をはじめ、各種保険などの

2026年2月20日、「組織対策会議」がWEBで開催され、九州地本から古村書記長、松本執行委員(組織担当)が参加しました。本会議は、近年の組織率の低下は組織運営に影響を及ぼすことから、全国の取組事例や課題を共有することで、組織率の向上を図ることが目的となっています。

組織化は最重要事項

全国組織化対策WEB会議

新規採用者の100%組織化を目指し、本会議で意思統一を図っていききたい」と挨拶がありました。



WEBで好事例を共有

その後、議事が進められ、各地本から2025年度新規採用者への取組状況について報告がありました。

取組状況としては「青女のスポーツ交流に未加入者も誘い、ともに活動することで加入に繋がった」「採用間もない未加入者が電話で外部苦情対応をさせられていたことから、分会が整理を図った結果、加入に至った」など、結果に繋がった事例が報告されました。

他方で、「スポーツ交流等に声掛けしているが、そもそも参加してもらえない」「基本組織が1名になってしまったことで、対策しても効果が期待できない」と、取組自体の難しさも共有されました。



選考採用者の「これまで」に寄り添ってみました

九州地本からは、昨年末に実施した「未加入者への説明会」を報告し、丁寧に説明することで信頼関係が構築され、加入に繋がった事例を共有しました。

間でも共有することで、課題を「個人の課題」ではなく「組織全体の課題」として捉えることができたことは大きな成果です。各分会の皆様におかれましては、日頃から青年女性委員会の活動にご理解ご協力いただきありがとうございます。

一人ひとりもまた、もともとどこにいてもいる普通のおじさんだったはずだ。▼任務の前には仲間と笑い、酒を飲めば陽気になり、家に帰れば家族と穏やかに過ごす。そんな何気ない日常を持つおじさんが、国の事情によってある日、命を懸ける場所へ送られていく。▼これまでの歴史があつて衝突があることを軽くみていない。それでも、震える指で引き金を引くおじさんは、「誰かを傷つけるためだけに生まれてきた人」ではない。国家の衝突は、国と国の争いである前に、おじさんから人間らしい日常を奪うものなのだと思ふ。▼国家の対立が深まるたび、普通に生きていたはずのおじさんが、組織として前線に立たされる。その重さにもっと想像力を向けたい。



松本

中央情勢の只中で

中村中央本部委員長オルグを受けて



本部委員長が中央情勢を届ける

係る労働条件に係る課題、⑤再任用の労働条件に係る課題、新規採用者数の状況なども含めた要員関連課題、⑦新規採用者の組織化（組織体制の確立）、⑧森林労連共済への加入拡大の協力等について話がありました。

国会情勢では「第51回衆議院選挙」直前であり、立憲民主党と公明党が中道勢力の結集を掲げ、「中道改革連合」が結成された直後であったことから、林野労組の考え方や、推薦候補者の必勝に向けた取組について説明がありました。

また、組織・要員にかかり、「森林官の級の切り下げ」につ

2月2日(月) 16時30分より林野労組中央本部オルグが実施され、九州森林管理局分会組合員約50名が参加し、中村執行委員長のオルグを受けました。

オルグでは、①国会の情勢、②2026春闘方針、③一般林政課題、④国有林野事業推進に

いて触れ、近年恒常的に行われている状況に歯止めを掛ける取組が重要と報告されました。

局分会としても、これ以上、現場管理機能が低下することは看過できません。人事院交渉を始め、当局への要求書提出など現場を支える取組を更に強化していきたいと考えています。

質疑応答では、「近年、平和問題への取り組みについては昔ほど強く言わなくなったと感じる」等の意見があり、「これまでも今後も取り組んで行く」との回答がありました。

最後に、今後も公務労協や連合をはじめ、中央・地本・各分会の連帯をより一層強化することが重要であり、2026春闘生活闘争の前進を図ることを共有しました。



局分会も現場を支える

本部オルグは、中央本部から直接説明を受けることで、日頃ニュースや資料だけでは理解しにくい中央情勢や、春闘の位置づけについて、参加者の理解が深まる機会となります。特に、国会情勢や林政をめぐる課題、要員問題などについては、全ての組合員にとって、貴重な情報です。中央と現場が直接意見を交わすことは、組織として一体感を高めるうえでも重要であり、今後の取り組みに向けて、認識を共有する有意義な場となりました。(局分会 平松通信員)

宮崎から春闘前進!!

連合宮崎春闘総決起集会

2月28日、宮崎市にて、2026連合宮崎春季生活闘争総決起集会が行われました。

去年の春闘では、賃上げ率は4・31%と過去最高額を更新することはできましたが、賃上げを上回る物価高騰によって、生活がよくなったと実感する人は少数となっており、個人消費は依然として低迷が続いている状況です。

連合は賃金と物価が安定的に上昇する経済社会の実現に向けて、こだわりを持って取り組んでいくとしています。

また、生活の向上には賃金だけでなく、長時間労働の是正と生活時間の確保も重要です。長時間労働が前提とした働き方を見直し、安心してらせる賃金の確保が大切です。

よりよい職場、社会、未来を



人事院勧告を支えるため、まずは民間賃上げを

つくるため、集まった各組織の仲間たちと共に、これからの決意を確認し、最後にデモ行進を行いました。

(西都尾湯分会 鶴山通信員)

森と海のあいだに、暮らしの記憶を見た

～熊毛地域労福協・屋久島歴史探訪～



集落に向かう途中。屋久島では日常

令和8年2月21日(土)、熊毛地域労働者福祉協議会による労働者福祉事業の一環として、世界自然遺産に登録されている西部林道地域の歴史探訪が実施され、林野労組屋久島分会もこれに参加してきましたので、当日の様子をご紹介します。

西部林道まで乗り合わせバスで向かい、道路沿いから林内へ向けて歩き始めました。今回の目的地は、屋久島が世界自然遺産に登録される前から人々の暮らし(集落)があったという川

原地区と半山地区です。しばらく歩きますと西部林道の名物でもある野生のシカ・サルたちがお出迎え、適度な距離を保ちつつ観察しました。サルたちも慣れていてのか我々の存在は意に介していない様子です。

海沿いまで歩を進めると、人が暮らせそうな平地の開けた場所にある川原地区へ到着しました。周辺を散策すれば割れ茶碗がチラホラと、いつのものがはわかりませんが、集落の名残を感じさせます。

このほかにも、炭焼き窯や住宅の基礎と思しき石積みも見られ、世界自然遺産地域の只中で、人々の暮らしが感じられる不思議な体験となりました。引き続き屋久島分会として、労働者福祉協議会との連携を進めていきたいと思えます。

(屋久島分会 野田通信員)



写真は茶碗。当時の暮らしが確かに

「資金活動の御礼」

九州地本青年女性委員の学習・交流を目的とした全体集会を開催する為、資金活動に取り組み、物販活動を通じて全員で協力して取り組むなど、地本・分会と連携し、青年女性委員が中心となって取り組みを進めてきました。

今回、「新シリーズ・森人ポロシャツ」の販売を展開しましたが、販売枚数は577枚と、当初の予想を大きく超える結果となりました。

このことは、九州地本が一体となって取り組んだ成果と受け止め、全体集会開催に向けて大きく前進することができました。

この取り組みを通じ、今後の青年女性活動につなげていくことを常任委員会で確認しました。

組合員をはじめ、ご家族の皆様、また多くの購入して頂きました皆様のご協力、本当にありがとうございました。

【九州地本青年女性委員会・東委員長】

あの人と人

「今年は午年！ “ウマイ” 年になる予感」

神谷 公太さん(佐賀分会)

今回、佐賀分会からは、神谷公太さんを紹介します。神谷さんは沖繩出身の24歳で、令和6年度に佐賀署に採用され森林育成担当として2年が経過しようとしています。今年度は同僚で1年目の田邊さんと共に虹の松原空中散布を爾々と完遂し、どの仕事も安心して任せられるリーダー的存在です。

酒にも強く、泡盛を飲んでもしっかり動けないタフさを持ちながら、ちよつといつもよりおしゃべりになるところがチャームポイント。ただし、スマイル強要だけはお断りらしく、過去のバイトで何があったらしいい(詳しくは本人の胸のうち)。

そんな神谷さんですが、趣味は干支と同じ「馬」で、農林水産省の収入に貢献したいという強い決意のもと、競馬にいそいそと励んでいます。近年は競馬場でご当地アイドルグループ等も活動していますが、そのあたりは全く興味がないようで、「ライブをやっているようですが、名前も知らないですね」とクールな返事。そんなクールな神谷さんが競馬場でアツク？なっている姿は筆者も是非一度は拝んでおきたいところです。

好きな馬はオルフェーヴルですので馬が好きな方は是非神谷さんに声を掛けてください。

(佐賀分会・堤通信員)



仕事力と競馬愛をもつ佐賀のホープフル